

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	「利用者一人ひとりの思い、家族の希望に寄り添います」「人と人がつながり、共に支えあい、共に笑い合える暮らしの輪を広げます」「住み慣れた地域でのその人らしい暮らしを支えます」「利用者の暮らしを支える全ての人々の思いを大切にします」をモットーに、ご家族や関係機関と連携して、自宅で生活する利用者様の24時間365日を捉えた個別ケアの提供を目指している。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	西岡佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	2人	人	1人	4人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所自己評価の取組みについて、ミーティングなどの時間を活用して振り返りながら、職員一人ひとりの意識を高める。	・事業所自己評価に取り組んで、自分ではできていると思っても、他の職員の中にはできていないと思っている事もあり、ミーティングで色々な意見の擦り合わせをしながら、改善方法について話合うことができた。	・色々な働き方のスタッフがいて共有する難しさもあると思うが、工夫されているのがよくわかった。(地域の団体) ・地域密着型の事業所という視点で見せてもらった。家族と地域との繋がりを大切にされているのがわかった。(役場)	・好評頂いた意見については、継続し改善の必要な意見について職員全員で取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境	・音や匂い等も含めた居住環境、人的環境の改善に継続して取り組む。 ・個々の利用者心身状況に合った安全な居場所作りを、リスク対応も踏まえて取り組む。	・環境の大切さについては、職員間で日々話合っていて意識している。 ・泊まりの利用者の安全についての環境について写真に残し職員間で共有する事ができた。	・利用当初は、木の扉だから(中が見えないから)入りにくかった。(家族) ・来客に対し、先に扉を開けておくなど出迎への対応に気をつけている。	・個別の利用者に合った夜間帯のリスクに対する環境設定に取り組む改善できたので、日中の共有スペースでの過ごし方・環境について再度見直し取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	・今までの広報活動を振り返り、情報をタイムリーに発信できるように改善する。	・情報発信に取り組んできたが、タイムリーにできなかった。 ・開設10年目を迎えるがまだまだ情報発信のアピールが不足している。	・せっかく高齢者と乳幼児の集う場所としてあるのだから、双方がアピールし合うことで地域の方への周知にもなるのではないかと？コラボして欲しい。(家族)	・あったか広場だけのかかわりでなく、地域の団体(ぼっかぼか)とあったかと広報活動の中で協力しお互いの情報発信・活動内容の活性化に取り組む。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者自身の持っている力を、引き続き地域の資源として活かせるような支え方を提案、提供していく。	・利用者の馴染みの店には継続して行くことができています。 ・地域の活動へ復帰し通い時には利用者へのレクリエーションとして還元してもらっている。(職員はサポート役) ・人によって差があり、地域活動や社会資源の活用に至っていない。	・利用者は、事業所の中だけで過ごしていませんか？扉はいつもオープンですか？と質問あり。 開錠の時間や施錠の時間、職員の配置などを説明する。	・利用者自身の持っている力を引き続き地域の資源として活かせるような支え方を提案、提供していく。(継続) ・他の利用者への関わりについても同様に取り組む。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議を開催する時間帯を見直すなど、家族様や利用者をもっと参加できるように工夫する。	・家族の参加は少数であった。内容や時間の調整ができていなかった。	・他の事業所は同じ内容で、2回に分けて開催するという意見あり。 ・情報を共有しあったか広場に関わる方とお互いをアピールし合う必要がある。	・あったか広場(小規模)での取り組みを再度広めるきっかけとして情報発信に取り組む。(ぼっかぼか通信へのコラム掲載)
F. 事業所の防災・災害対策	・避難訓練などを通して、家族や地域と災害発生時の協力体制を強化する。(前回の改善計画を再度継続)	・今年度は日中想定、夜間想定との避難訓練を実施し住宅との協力体制確認する事ができた。 ・家族や運営推進会議のメンバーにも参加と実際の介助もしてもらうことができた。	・いざという時に助け合えるよう地域の人との関わりを密にする事が大事である。(地域住民) ・地域の方には、浸水の場合はあったか広場をすすめている。(地域住民)	・避難訓練などを通して、家族や地域と災害発生時の協力体制を強化する。(台風や地震など事業所にとって緊急時の際の協力体制については、継続した課題であるため前回改善計画を継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元 年 10 月 25 日 (18 : 00～20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	5人	人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・職員カードについては、継続的に活用する。・ご本人の「望んでいる過ごし方」を継続して計画・実施し定期的に再評価を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・職員カードは好評で家族様がずっと保管して飾って下さっている。(継続して活用)・本人様の「望んでいる過ごし方」については、状態の変化や要望の変化により実施が利用者によっては差があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	10			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	11			14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	8	1		14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	9		1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・家族来所時には、職員が間に入り本人様の様子を伝える事が出来ている。 →家族の知らない本人様の様子を写真や動画を使って伝え、利用中の様子を知って安心して頂く事ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・本人様によって初期支援時のこちらの気遣いがかえって負担になってしまい通いに結びつかない事があった。 →在宅支援の視点が薄く、過剰に関わろうとしてしまった。(現状、訪問対応で利用は継続中)	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・職員カードは継続して活用する。・利用者によって初期支援時の情報と実際が大きく異なる場合もある。実際に早い段階での関わりで得た情報を利用者カードとして作成し職員間で共有できるようにする。 → (様々な働き方の職員がおり、関わりに差がある)	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	1人	人	14人

前回の改善計画
・具体的な支援方法をできることから利用者ごとに作成し、ご本人の「～したい」の実現に向けて取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
・本人様にとって「～したい」をくみとり実現できる事から取り組むことができた (外出支援や活動支援)
・聞き出す、くみとる事が難しい利用者様の「～したい」の実現が難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	11	1	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	10	1	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	9	2	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	7	3	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日々の関わり、会話の中で利用者様お一人おひとりの「～したい」を聞くように心がけた。聞いた内容を職員間で共有することができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人様のできること、したいことをこちらの都合で奪ってしまうような支援になりそうな事があった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・本人様のできること、したいことを見極める視点を持ち、思いをくみとりながら実現に向けて取り組む。(職員は手を出し過ぎないように気を付ける)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	5人	人	1人	14人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活の質の向上を目標に、写真や動画を活用した情報共有を強化し、「ケア方法の統一」及び「環境の見直し」を実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・泊まり時の利用者様の室内環境の写真を撮り、リスクマネジメントの視点から家具などを安全に配置し全職員で共有し実際の泊まり時の環境として活用できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	3	5	5	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	6			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	7	1	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	7	1		14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人様の状態変化に合わせて排泄ケアの見直しをし、対応方法を変えた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・長期利用の利用者様の状態が安定していることに安心し、気づきの視点が鈍くなったことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・泊まり時だけでなく、通いの場面での環境作りにおいても取り組む。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	1人	1人	14人

前回の改善計画
・利用者自身が社会資源・地域資源である事に気付けた。 ・利用者自身の力を発揮してもらえるように、職員はサポート役として関わりを継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者自身が継続して地域の活動に参加できるように体調管理や利用調整も含め支えながら活動のサポートが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	10	1	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	10		1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		9	4	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	8	3	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者本人が以前から参加していた地域の活動に参加ができるようになり、事業所でもレクリエーションの先導役を自分の役割として担うことが出来ている。 (理解した上で、職員がサポート役に徹している) ・継続して地域活動に参加し、本人様の力を小規模利用時の活動において還元してもらっている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域活動への参加については、できている人とできていない人がいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・おひとりだけでなく、他の利用者様の力を見つけ社会資源として発揮できるようにサポートする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00～20 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	6人	人	1人	14人

前回の改善計画
・ご本人・ご家族にとって、多機能で柔軟なサービス提供を継続していくために、ご本人やご家族を取り巻く地域、環境にも目を向ける。

前回の改善計画に対する取組み結果
・地域資源の活用は一部の利用者様は継続できている。(行きつけの理髪店、元気かい、地方祭)
・登録者全員は、活用できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	9	2		14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	2	2		14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	7			14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	8	4	2		14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員間で、利用者様の変化を申し送りノート、メールなどを通じタイムリーに発信し共有することができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自分達の事業所だけで支えようとしている部分が多く、地域の資源を活用して支えるには至っていない。
・就労している家族が多く、家族意向により利用が多くなっている。本人様にとっての視点では柔軟ではないかもしれない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・利用開始から長期的に利用継続されている方も多いため、本人様にとって現状のサービス利用の見直しをする。
・地域資源の活用について、活用できていない方にとっての地域資源を見つける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18:00 ~20:30)

6. 連携・協働

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	10人	人	1人	14人

前回の改善計画	・事業所のブログや広報誌を中心に、職員一人ひとりが情報発信することを意識して実践する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所のブログや広報誌を使って情報発信できたがタイムリーでない時が多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	6	3	2	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	6	3	3	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	5	5	3	1	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	9	5			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域のイベントには利用者様と一緒に参加するようにしている。 ・常に子供さん、地域の方が足を運んでくれる。開設以来の関係で馴染みの関係が出来た。 (ウッドデッキのスペースから、小規模側へ自由に入って来てくれるようになった)	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・タイムリーな発信が不足していた。 →職員（担当）任せていたので他の職員、全体に意識出来ていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・(継続) 事業所のブログや広報誌を中心に職員一人ひとりがタイムリーな情報発信を意識し実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18:00~20:30)

7. 運営

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	人	2人	14人

前回の改善計画

・台風による大雨の際、民生委員の方から心配して声を掛けて頂いたことを感謝している。事業所から地域へ向けての働きかけが不足しているため、双方向の情報発信に取り組む。
(前回と同様の改善計画) 継続

前回の改善計画に対する取組み結果

・双方向の情報発信は、難しかった。
・事業所内での活動やこちらからの働きかけは不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	9	2	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	5		2	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	6	1	2	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	11	1	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・利用者以外の方の相談にのることができた。
・利用者の家族様からの要望に合わせて活動の内容を工夫した。(口腔体操)
・法人連携の取組みに初めて参加する事ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・事業所内の対応が精一杯で外部への働きかけが不十分であったと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

・事業所から地域へ向けての働きかけが不足しているため、引き続き情報発信に取り組む。
(継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00～20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	7人	5人	1人	1人	14人

前回の改善計画

- ・法人のキャリアアップ制度も活用し、職種や経験を問わず、様々な資格取得に取り組む。
- ・事故を減らすために、ヒヤリハット報告の確認作業は継続する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・職種や経験を問わず、資格取得に取り組むことが出来ている。
- ・ヒヤリハットの報告書を提出し、職員間で共有する事が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	11	1	1	1	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	5	2	1	14
③	地域連絡会に参加していますか	4	4	5	1	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	6	6	1	1	12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・家庭の都合以外の職員は、ほぼ全員参加できている。
- ・ヒヤリハット報告書を提出する事で職員間でヒヤリとした日常的な利用者の事を共有する事ができている。
- ・外部研修に参加出来ない職員もミーティングで伝達研修を受ける事ができる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員によっては、家庭の都合で参加できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・研修の時間帯や内容等、多様な働き方であっても研修に参加出来るような機会を作る。
- ・ミーティング以外でも伝達研修の時間を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 10 月 25 日 (18 : 00 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	1人	1人	14人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・自分達がゆとりを持ってケアするために、日頃から不適切ケアに関して話し合うことで意識を高める・職員間で対応方法について振り返り、ケアの内容や業務内容の見直しを定期的に行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・利用者様の対応方法について、写真と動画を用いて共有しながら見直しすることができた。・不適切ケアについて、ミーティングにおいて、話合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	1			14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	9	4	1		14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	9	3		2	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	3			14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度の活用ができている。 →利用者様の対応で迷った場合には、職員間で話し合いながら不適切ケアにならないように確認し、適切な対応ができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・お部屋に時々ノックせずに入室したり、浴室のついたてを忘れてしまい配慮にかけることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・継続して写真や動画を活用しながら利用者様のケアや対応方法の確認をする。・日頃から利用者様へ配慮の必要な場面、方法、対応について確認し合う。	